



## あとがき

昔から山科に住み、その変貌を見てきましたが、山科は自然に恵まれた美しい土地であったのだと、寄せられた多くの写真から懐かしく思い出しました。

この企画に参加された方は、聞き取り・現地調査・編集など非常に熱心に取り組まれ、各自の山科を発見されたように思います。山科に非常に興味をもったとのご意見を聞きうれしく思いました。十分なアドバイスはできませんでしたが、写真の撮影された年代、場所を考えつつ、頭の中で自分史を作っているような思いがして、楽しい貴重な体験となりました。

今後、これを機会に、もっと多くの写真が蓄積され、丁寧に読み込まれて、山科に住む私たちの共通の財産として活用されるようになることを願っています。

アドバイザー

山科の歴史を知る会会長 山本 正明

## 残したいもの

山科の竹やぶ、疏水の桜、螢、神社の祭り、田畠、残り少ない土塁跡。自然いっぱいのヤマシナのまち。

数少なくなった商店街、昔ながらのお店、街道沿いの旧家、銭湯、地の野菜、振り売りの行商。昔ながらのヤマシナの面影。

虫取り、外遊び、縄跳、家族団らん、近所付き合い、地域の行事。ヤマシナに暮らす人々の笑顔。

この写真集を作り上げる過程で、隊員皆が実感した、ヤマシナにある未来へ残すべきたくさんの中。この写真集を通して、皆さんに少しでも伝わり、未来永劫、残っていくことを願ってやみません。

(パッチリ山科みつけ隊一同)

## 写真集 モノクローム ヤマシナ

未来へつなぐ山科の記憶

発行者 山科区役所区民部まちづくり推進課  
〒607-8511 京都市山科区柳辻池尻町14-2  
TEL075-592-3088 FAX075-502-8881

発行日 平成18年3月

京都市印刷物 第173212号